

滋賀県湖北構想区域 区域対応方針（案）

令和7年 3月 策定

【１．構想区域のグランドデザイン】

限られた医療資源を有効に活用し、将来にわたり持続可能な地域完結型の医療提供体制を確保する。

【２．現状と課題】

① 構想区域の現状及び課題（課題が生じている背景等を記載）

湖北区域ではすでに人口減少の局面に入っているが、75歳以上人口は2030年頃まで増加し、132.7%となる見込み。

人口10万人あたりの全体の病床数および療養病床数は全国値、滋賀県値を下回り、一般病床数は全国値を下回るものの、滋賀県値を上回る。

病床利用率は一般病床、療養病床とも全国値、滋賀県値を下回る。

平均在院日数は一般病床、療養病床とも全国値、滋賀県値と比較して短い。

高度急性期機能の区域内完結率は86.9%と高い状況が見込まれる。区域を越えた医療を提供する役割もあり、高度、専門医療の提供体制を維持、発展させていく必要あり。

急性期機能の区域内完結率は89.3%と高い状況が見込まれる。主な疾病や主な事業について役割を明確化する必要あり。

回復期機能の区域内完結率は82.7%と高い状況が見込まれる。将来推計ではニーズの増大が見込まれ、機能充実に向けた対策が必要。

慢性期機能の区域内完結率は22.9%と著しく低く、療養病床の利用率も53.2%と低い状況。医療需要は在宅医療等への移行を踏まえても増加傾向であり、必要な病床機能を確保、充実する必要あり。

医師数は全国平均、県平均を下回る。看護師数は全国平均、県平均を上回る。理学療法士、作業療法士などのセラピスト数はいずれも県平均を下回る。今後、生産年齢人口の減少が見込まれ、医療従事者の確保は現状より厳しくなることが見込まれる。

② 構想区域の年度目標（医政地発0331第1号令和5年3月31日付厚生労働省医政局地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」）

必要病床数等を踏まえた対応方針の検証。

③ これまでの地域医療構想の取組について

2016年度に湖北圏域地域医療構想調整会議を設置。将来の医療需要や必要病床数などを示し、湖北区域における目指すべき医療提供体制を議論。働き方改革の医師への適用を見据えつつ、湖北区域の課題を解消するため、2019年3月に病院機能の再編イメージが合意され、病院間で具体的な協議を開始された。また、2020年1月に重点支援区域の選定を受け、国からの助言や集中的な支援を受けられる環境とした。病院間の協議を加速させるため滋賀県長浜保健所も参画し、2023年度に病院運営検討会議を、2024年度に病院運営検討協議会を設置し、目指すべき医療提供体制の実現に向けた協議を実施し、3月に病院ビジョンを策定する見込み。

④ 地域医療構想の進捗状況の検証方法（地域医療構想調整会議の進め方やデータ分析方法等）

病床機能報告、病院間の協議の状況を報告いただきながら、対応方針への反映を確認する。

⑤ 地域の医療機関、患者、住民等に対する周知方法（地域医療構想に係る取組内容、進捗状況の検証結果等）

調整会議は原則公開で実施。調整会議の議事概要および資料をホームページで公表。

⑥各時点の機能別病床数

	2015年 病床数	2023年度 病床機能報告 (A)	2025年の 予定病床数 (B) ※1	2025年 病床数の必要量 (C)	差し引き (C)－(A)	差し引き (C)－(B)
高度急性期	324	266	334	161	▲105	▲173
急性期	617	634	566	446	▲188	▲120
回復期	146	133	133	288	155	155
慢性期	109	109	109	67	▲42	▲42

※ 病床機能報告における「2025年7月1日時点における病床の整備の予定」として報告された病床数の合計又は各医療機関における対応方針の予定病床数の合計

【3. 今後の対応方針】※2を踏まえた具体的な方針について記載

① 構想区域における対応方針

高度急性期、急性期、回復期機能の区域内完結率は維持しつつ、慢性期機能の区域内完結率が向上するよう、医療機関の機能分化と連携の強化を図る。

② 「①構想区域における対応方針」を達成するための取組

病院ビジョンでは湖北区域の4病院の目指す姿が示され、その実現は2段階で進めると示されていることから、第1段階では、モデル推進区域としてアウトリーチの伴走支援（地域の医療事情に関するデータ提供・分析、分析結果を踏まえた取組みの検討に関する支援など）を受け、医療機関の機能分化と連携の強化に向けた取組みを進める。また、時間外・休日の救急医療は医師の負担が特に大きいことから、効率的で持続可能な体制のあり方を検討する。

③ 必要量との乖離に対する取組

最新の人口推計や医療需要、患者の流出入の状況などの分析結果をもとに適正化を働きかける。自主的な病床の機能転換やダウンサイジングに対して、地域医療介護総合確保基金を活用した支援を実施する。

④ 3. ②及び③による取組の結果、想定される2025年の予定病床数

	2025年の 予定病床数※ (2025年7月1日時点)
高度急性期	334
急性期	566
回復期	133
慢性期	109

※2023年度第4回湖北圏域地域医療構想調整会議にて合意された各医療機関の対応方針の予定病床数

【4. 具体的な計画】 ※【3. 今後の対応方針】を踏まえた具体的な工程等について記載

	取組内容	到達目標
2024年度	2024年9月 第1回調整会議 ■ 現状・課題の確認 ■ 推進区域、モデル推進区域の設定 ■ 病院間の協議の進捗報告 2025年3月 第2回調整会議 ■ 区域対応方針の検討 ■ 病院ビジョンの提案	区域対応方針の策定 病院ビジョンの合意
2025年度	年2～3回程度調整会議を開催。 モデル推進区域としてデータの提供、分析を受け、結果を共有し、医療機関の機能分化と連携の強化に向けた検討を行い、医療機関の対応方針を検証していく。	医療機関の対応方針の合意